

疋田教諭分限免職取消訴訟ニユ - ス No.3 2007/09/20

「陳情書・支援メッセ - ジ」から 第1弾 陳述書の期限など

人事委員会に申し立てした当時、そして今回の裁判に提訴したとき、疋田教諭を直接知っている卒業生、保護者の方々、同僚、友人・知人と、さまざまな方々に陳述書を書いていただきました。また、裁判を支援を募る活動をはじめてからは、それらの方々に加え、疋田教諭を知らない方々からもたくさんの支援メッセ - ジをいただき、今、陳述書をご準備くださっている旨をお聞きしております。

ところで、すでに頂いているそれらの陳述書やメッセ - ジには、勇気づけられる素敵な言葉（怒りと希望）がたくさんありました。そこで是非、多くの方々と共に共有したい、そしてさらにこの裁判への関心の輪を広げたいと思って、改めてそれらの陳述書やメッセ - ジを書いてくださった方々に少しずつ、ホ - ムペ - ジ及び裁判ニユ - スで紹介させただけでないか問い合わせをしています。まだお願いしはじめたばかりですが、早速お返事をくださった方々もいっしょに、そこでその方々の分をまとめてみました。今後も、掲載承諾の確認がとれた方々の分、また、これから書いてくださる方々の陳述書やメッセ - ジで、やはり掲載承諾の確認がとれた方々の分について、このような形で、その一部をこの裁判ニユ - スで紹介させていただきたいと思います。

「怒り」の輪を広げ、各地で起きている同様の問題と連帯していければと思っています。

「陳情書・支援メッセ - ジ」から 第1弾 (2007/09/20)

～ 疋田教諭の教育実践を直接知る方々から ～

「私は小学校から大学まで色々な先生に出会い、習いましたが、疋田先生程、生徒に親身になってくれる素敵な先生に出会った事はありません。まさに金八先生の様です。...略... / ...略...中学生にとって理科は余り興味がなく、普通つまらないものだと思います。しかし、疋田先生は生徒の興味を引くように、様々な自分で作成したテキストや教材をわざわざ作って下さり、勉強を楽しい事に変えて下さいました。...略... / 私が、担任の先生ではなかったのに、疋田先生のことによって一生けん命になるのは、担任の先生よりももっと何でも相談やお話がしやすかったからです。現に、大人から見れば本当につまらない相談にしょっ中のってもらっていました。...略...疋田先生はバカにしたりせずに、一つ一つちゃんと答えて下さいました。疋田先生は常に生徒の目線に立ち、物事に一緒に立ち向かって下さる、とても素晴らしい先生です。...略...」～ 練馬区立中村中学校時代の生徒（卒業生）～（陳述書全文をホ - ムペ - ジに up しています）

「...略...生活指導で活躍し、...略...学年会のチームワークを重視し、万引き防止指導や弱い者いじめ等の具体性のある実践指導資料を起し、指導の効果向上に貢献しました。私自身、他校に転勤後もこれらの資料を着任校の教諭たちの研修資料として、大いに活用させていただきました。 / 理科の教科指導では、自然に対する関心や態度の向上を目指していました。身のまわりの自然現象や自然界の中から疑問や課題を見つけ出し、進んで調べる態度を大切に、常に創意工夫を心がけ、生徒の興味・関心の向上に貢献しました。 / 何事にも熱心に取組む疋田教諭の指導姿勢は、同僚職員の中でも群を抜いていたことが、強く印象に残っています。そして疋田教諭の実践は現職教諭たちの目標となるものです。...略...」～ 練馬区立中村中学校時代に疋田哲也教諭と教頭して関わられた立場から～（陳述書全文をホ - ムペ - ジに up しています）

「...略...理科の授業はほかの教科にくらべとてもユニークで楽しいものであったと述懐しています。

…略…/また当時としては画期的であったと思いますが性教育についても理科の時間の中で教えてくださったことが良かったと言っています。/私がPTAの役員をしていた頃は学内に荒れがありそのことで学校長を含む教官とも密な共同がありました。その中で疋田先生は非常に熱心に問題に取り組んでいました。学校に来ていても授業に出るでもなく地べたに座り込んでいる生徒たちもいました。けれどその生徒たちはそうした形で学校に自分たちの居場所を見つけていたのです。当時私たち親はそうした形で生徒が学校に来られる状況を、疋田先生や若い先生たちが校長と共に生徒たちを管理でがんじがらめにしようとしなかったからではないかと好意をもって見ていました。…略…先生が今までやってきたことが多く子どもたちに受け入れられ育ってきた事実を見れば決して一般的に受け入れられない人ではないとわかるはずでしょう。みんなと違っているという理由で排除されるということ、それがこれからの日本を築いていく子どもたちを育てていく教育の現場で起きたということに心のそこから憤りを感じます。…略…」～東久留米市立西中学校時代の生徒の母親・娘とともに当時を振り返って～(陳述書全文はこちら)(陳述書全文をホ・ムペ・ジにupしています)

～こんな酷いことが起きていいのか:人事委員会での請求人最終陳述書を読んで～

「陳述書拝見しました、こんな酷いことが現実にあることに身が震えるほどの憤りを感じました」(元教師)

「改正教免法の『分限免職』処分がこのようなかたちで有能で良心的な教師を排除する暴力として使われる現実に強くショックを受け、怒りがこみあげています。」(大学教員・研究者)(大学教員・研究者・元教師)

「…略…私自身の35年間の教職経験に照らしても、このような事例は少なくとも市内でも見聞きしたことはありません。常識ではとうてい考えられない管理職(澤川菊雄校長)の言動です。/…略…こんなことがまかり通ることになれば、仮にどのような不合理・不条理なことが生じて、誰一人としてそのことに異議を唱えることなどできなくなり、重苦しく冷え冷えとした職場になっていくことでしょう。…略…」(教師)(陳述書予定文は裁判ニュ・ス No.2「陳述書のお願い他」に掲載してあります。このニュ・スはホ・ムペ・ジにupしてあります。)

「人が人に対してなぜこんな理不尽なことができるのか、怒りというよりも悲しい気持ちになりました。」「荒井さんから資料を送っていただき、事の詳細を知ることができました。私はその資料を読んだ限りでは、校長が疋田さんのことを気に入らないので、ありとあらゆる手を使って免職に追い込んだ、としか言いようがないものです。人が人に対して、なぜこんな酷いことができてしまうのか、怒りを通り越して悲しい気持ちになりました。そして、そうした恣意をチェックし食いとめるしくみが働かず、逆にその恣意がまかり通ってしまうというのが、少なくとも今の東京都の教育現場の現状であるということが、非常に恐ろしく思えました。」(大学教員・教育研究者)

「読めば読むほど疋田先生が陥れられたことが分かります。/精神的に大変なストレスの中で孤立無援でたたかって来られたということですね。/産経新聞というもののくだらなさ、犯罪的な取材姿勢も伺うことが出来ました。/校長はストーカーだと感じました。・・・略・・・
中堅の経験豊かな教師を追い出すという風潮は私自身がつい先日教育長の発言で強く感じました。/・・・略・・・疋田先生のようなすばらしい方(私は心からそう感じました)がいられなくなるような教育現場こそ教育の崩壊を意味するものではないでしょうか。」(元教師)

「後半部分を占める、校長・教頭・PTA役員の行動には驚きであり、信じがたい内容に唾然としました。／お兄様の教員としての経歴には感服しました。／私もほぼ同い年で、高校と中学の違いはあるにしても、あの時代に教員となり運動部顧問としての生活を思い出す時、頷ける内容が多々あります。／それにしても、教科指導・部活指導にとどまらず、あれほど広範な校務をこなし評価されながら、研修に送られ、さらにこの件のような処分が為されたことに 怒りを感じると同時に、疑問も感じます。／石原都政下での「教育改革」の結果なのでしょうか。／また教員免許更新制の影響がこういう形で現れるということにも驚きました。／この処分問題はひとり疋田先生の問題としてばかりでなく、現在の教育現場の状況を考える大きな問題を孕むものとして捉える必要があると感じています。」(教師)

「資料有難うございました。苦闘の経過を読ませていただきました。／ のMLでは、教育界の管理主義強化ということが言われていますが、本当に訳の分らない管理者たちが、教育者というよりは、教師たちを締め付け、上意下達の学校管理を押し付けようとしていることがよく分かりました。／先生には頑張って分限免職などという理不尽な処分を跳ね返すための裁判を続行していただきたいと思います。」(教師)

～初公判を傍聴して～

「今朝、4時すぎまで寝つけませんでした。都教委の、あまりの理不尽さに、怒り、驚き、興奮してしまっただけです。」(教師)

「今日は、じかに裁判にでかけて本当によかったと思います。権力弾圧との闘いは困難であると切実に思います。／疋田氏に加えられた権力弾圧と人権侵害は断じて許されるべきものでなく、全国的、場合によっては国際世論によって糾弾されるべき問題だと強く思いました。・・・略・・・また、人事委員会への陳述書等を拝見して、人権侵害を行った校長、教頭の法的責任も追及されてしかるべきだと思いました。・・・略・・・／疋田氏が直面した迫害は、たんに疋田氏個人の問題ではありません。それは、全国民が直面している困難と繋がっています。『分限免職』処分という不当な権力犯罪の事実がまかり通るような世の中になることを許してはなりません。多くの人々に事実を広め、その本質をわかってもらえば、教師・市民も立ち上がることでしょう。そのために私のできることはやっていく覚悟をして帰ってきました。」(大学教員・研究者・元教師)

「疋田先生の(初公判の-荒井)陳述(というのでしょうか?)とてもよかったです!!／お人柄を感じさせる抑揚のある訴えに感動いたしました。／そして、1番感動したのは、生徒さんが応援に来てくださっていたということです。／すばらしい応援団ですね!!!／教師冥利に尽きますね～うらやましい限りです!!／どんなにすばらしい教師であるか推察できます。／・・・すばらしい教師であったがゆえに、管理職は気に入らなかったのでしょうか?／本当にくやしいです～!!!!!!／このような不当な処分!許せません!!」(元教師)

～初公判を傍聴し、人事委員会での請求人最終陳述書を読んで～

「私は転送メールで疋田教諭の裁判を知りました。／第1回公判の前日に、まったく寝耳に水のこの裁判を知り、たまたま時間があつたとはいえ傍聴にまで出かけていったのはなぜなのか、と自問自答しています。／メールの呼びかけに心を動かされたのですが、それは支援をしている方たちがとても身内ので、組合や運動体のようなところが支援していないということがあつたと思います。／疋田教諭を不当に処分させてはいけない、という身近な方々の思いがヒシヒシと伝わってきました。／さて陳述書などを読んだ感想は以下のようなことです。疋田教諭は体罰で問題がなかったとは私も思いません。しかしそれには

「研修所送り」という処分を受けています。そこで何人もの指導主事から指導を受けられています。そして自身の行為が体罰であったと気がついたことを率直に書いていられます。まだ謝る機会がなかった生徒にも謝りたい気持ちを述べていられます。疋田教諭がこのような認識にいたり、指導主事も大いに彼の研修の成果を認めて現場に戻ってからの活躍に期待しているのです。それならまさに研修は功を奏して実力ある有能な教師を一人生み出したことに他なりません。/陳述書から長年にわたる疋田教諭の仕事ぶりは『教師たるもの何でもチャレンジして人並み以上の力を持つ』ことを心がけていられたことに尽きるように感じました。全身全霊を教育に打ち込んでいたことが陳述書から伝わってきます。傍聴に何人もの教え子たちが来ていたことからそれは伺われます。だから体罰というマイナスの行為も克服されて、さぞかし気持ちも新たに意欲満々で現場に戻られたことだろうと想像します。/ですからその後の校長の仕打ちは明らかに個人的感情による嫌がらせとしか思えません。それまで何人もの校長となんら問題なく付き合えてこられた疋田教諭ですから、澤 校長（名前を確認省略）の感情は何か特別なものがあつたのかと思います。そしてそこまでやるかと思うほどの執拗さで疋田教諭を追い込んでいっています。私は校長の行為はストーカーと極めて近いように思います。立ち聞きしたことを大きな問題にフレームアップして行く、とことんいじめ抜く、行動の一つ一つを追っていく、という習癖を感じます。それも『立ち聞きしたんだが・・・』と恥かし気もなく言つてのける神経。教頭にいたつては『あなたを陥れるようなことがあるかもしれないが、それは校長の意を汲んでやつたことなのだ』などと言う、これは自尊心のある人間がいえることではないし、ましてや教育者が言うこととはとうてい思えません。/もう良い、といつている体罰された生徒の父親に執拗に告訴をするように迫る、ということも教育者のすることでしょうか？この校長こそ研修所に行つて教育の何たるかをはじめから勉強しなおしてもらいたいと思います。まさに問題教師とはこういう人を言うのではないのでしょうか。/疋田教諭から免許状を取り上げるような判決を出すとしたら裁判所が自ら優秀な教師は要らない、異常な神経の陰湿な管理職が必要と言つていることになります。あわせて、昨今の風潮としてある行き過ぎた処罰、立ち上がれないほど懲らしめるといふ風潮にも一石を投じる判決が出ることを願つて疋田教諭を支援していきたいと思つています。」（元教師）

陳述書の期限など

前号（裁判ニュー - ス No.2）でお願いした陳述書について、何人かの方から、いつ頃までに出せばいいの、簡潔なものかいいのかとの問い合わせをいただいております。昨日の弁護団会議で確認したところ、**裁判が結審するまでは、陳述書はいつでもだせませす** - 当面 12 月 10 日の公判までは裁判は続きます。しかし、裁判官へのアピ - ルを考えると、**早ければ早いほどいい**。また、**同じ人が別の内容で、追加の陳述書を出してもかまわない**とのこと。公判を傍聴してから書きたいとお考えの方もいらっしゃいますので、複数回出せるということも念頭においていただければと思います。また、簡潔なものかどう、法則はないようで、要するに裁判官にどれだけアピ - ルできるかということのようです。しかし、書いていただいた陳述書はもしお許しいただければ、このニュー - ス等で社会的アピ - ルにも使わせていただきますので、たくさんの、思いのこもつた陳述書が出されていること自体を社会に訴えて、さらにアピ - ルに使わせていただければと思います。

ちなみに、ホ - ムペ - ジの関連資料ペ - ジに PTA「役員会」（架空）の「要望書」をアップさせていただきましたが、ここでは疋田教諭に対する「200 件以上の苦情や意見が私たち PTA 本部に寄せられていることをご報告いたします」と、何の証拠もなく書かれました。そしてこの「200 件以上の苦情や意見」ということが、新聞報道、都教育委員会での疋田教諭への聞き取り、さらに警察署での事情聴取でも使われました。途方もない数字です。本当にそんな数の苦情・意見があつたのか。

一つひとつ思いを込めた、また署名入りの陳述書その質と量で、問題の社会的大きさを逆にアピ - ルしたいとも思うのですが、いかがでしょうか。

編集後記 ~長い編集後記で申し訳ありません~

昨日、弁護団会議があり、相手方答弁の内容を検討しました。事実をゆがめた書きぶりに改めてこんな酷い内容で判断されたのでは、裁判の公正さなど何もなくなると痛感しました。ホ - ムペ - ジにアップしてありますので、どうぞご覧になってみてください。

また、みなさんの多くから、署名活動に協力したいという申し出をいただいています。昨日の検討で、やはり**署名活動を行うためには、「支援する会」のようなものを立ち上げる必要がある**のではないかということになりました。**近いうちにご提案させていただきます**。どうぞよろしくお願います。

その他、運動の進め方等、また上述のメッセ - ジなど、どんどんご意見お寄せいただければ幸いです。

裁判関連資料についてのお詫び 人事委員会での請求人最終陳述書について、みなさまの何人かにメ - ルでお送りしたのも、また9月17日以前までupしていたものは正式に提出したものとより一つ前の版であることが分かり、ホ - ムペ - ジに訂正文とともにアップしなおしました。内容はほとんど変わりませんが、PTA「役員会」要望書への足田教諭の反論は、正式な版の方がより詳しく、また小見出しもついて、分かりやすくなっています。再アップに際して、関連資料リスト上でつけている補足説明中の該当ペ - ジも修正しました。陳述書等お書きになるときに言及される場合には、こちらの正式な版の方をご参照ください。不注意で申し訳ありませんでした。

合わせて、何人かの方から「**体罰**」の**実際の内容、原告側の考え方**についての問い合わせをいただき、個々にお返事を差し上げています。まず、**請求人最終陳述書に、体罰の実態、足田教諭の「体罰」認識の変化他が書かれています**。また**人事委員会の最終の準備書面**も9月18日にホ - ムペ - ジにアップしました。ここには争点の項目ごとに、原告側の考え方が書かれています(すでにアップされている今回の裁判の訴状にも書かれています)。請求人陳述書と人事委員会での最終の「準備書面」は長文のため、「関連資料リスト」上で、それぞれ**関連項目の該当ペ - ジについて、補足説明文中に記しておきました**ので、こちらを参照いただければ幸いです。

何か、これまでの経過、関連資料等で、疑問の点、ご意見などありましたら、これもどうぞ遠慮なく、お寄せください。努力して対応させていただきます。

支援者のお一人から、お知り合いからの情報として、**9月21日(金)NHK総合の特報首都圏という番組(19:30~20:00)**で、「**新宿の落合6小で新規採用教員が自殺した事件**」を取り上げる予定との情報をいただきました。NHKのホ - ムペ - ジで確認したところ、なぜか、9月20日午前3時過ぎというのに、21日の特報首都圏の番組予告がまだアップされておらず、「9月20日(木)に内容更新予定」と書かれていました。外から何か圧力がかかっているのか、それとも圧力を避けるためなのか・・・。この裁判のホ - ムペ - ジの表紙で紹介しようと思っていたのですが、悪い影響が及ばないように、信頼できる皆さんにのみ、このニュースを通じてお伝えします。首都圏の方は放映されるかどうかチェックしてみてください。放映された場合には、みなさまと意見交換できればと思います。

なお、このニュースは明日夜、ホ - ムペ - ジにアップします。

荒井容子

足田哲也教諭分限免職取消訴訟eメ - ル yfe12833@nifty.com

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/bungenmenshoku/index.html>